

びぶいお定期便

皆さんお久しぶりです。今年の夏休みは満喫できましたか？
テスト期間中、図書館では、普段よりも持ち込勉強OKの席を増やした「学習の日」を設けています。期間は9月16日～9月27日です。なお9月28日は図書整理日のため休館となっていますので、気をつけてくださいね。

今月のおすすめ びぶいお本

恵那市中央図書館 ジュニアコーナー 7・8月の新着本紹介

書名	著者名	出版者	請求記号
沖縄戦を生きぬいた人びと	吉川麻衣子/著	創元社	219.9/3/
職場ガイドぎふ	岐阜県産業教育振興会/編	岐阜県産業教育振興会	366/キ/
14歳からの天文学	福江純/著	日本評論社	K440/7/
真夜中のパン屋さん6	大沼紀子/著	ポプラ社	913.6/オ/6

『マルセロ・イン・ザ・リアルワールド』
フランシスコ・X・ストーク/著 K933/ス
岩波書店 ジュニアコーナー

マルセロは発達障害を持つ17歳。リアルな世界を知ってほしいという父親の望みに応え、ひと夏を彼の法律事務所で働くことに。そこで見つけた一枚の写真から事務所の秘密を知ってしまい……。

人の裏や嘘があふれる社会の中いきなり放り込まれたら、みなさんどうしますか？「リアル」な世界に戸惑うマルセロが、最後に出した答えを見届けて欲しい一冊です。

今月のイチオシ!

恵那農業高等学校

連日暑い日が続いていますが、皆さんはどのようにお過ごしですか。本校では、夏休みももうすぐ終わり、25日から学校が始まります。そこで今回はこの暑さを吹き飛ばすようなぞくぞくするホラーサスペンス小説をご紹介します。

「屍鬼(しき)」 小野不由美著

話の舞台となる外場村では夜な夜な不可思議なことがおこります。最初は伝染病か何かだろうと考えられていたのですが、どうもそうではないらしい。真実に気付いた時には大変なことになっていたのです。ホラー好きの人は、この世界に、はまるかなと思います。もう一冊もおすすめです。

「残穢(ざんえ)」。主人公は怖い話を収集している作家の「私」です。どこからともなく畳を掃くような音が聞こえ、振り返ってみると……。音の正体は何なのか。明らかになって行くほど恐怖が増してきます。

恵那特別支援学校

7月29日(土)に、当校にてPTA主催の「夏まつり」を開催しました。開会セレモニーに岩村城女太鼓の皆さんにお越しいただき、迫力のある太鼓を聴くことができました。食べ物バザーでは、城下町ホットいわむら等の皆さんにもご協力いただき、かき氷やフライドポテト等の出店がありました。遊びのコーナーでは、プラバンづくりや飛行リング等があり、児童生徒たちもとても楽しんでいました。ありがとうございました。

おすすめの本を紹介します。

『機関車先生』 伊集院静 著 (講談社)

「機関車先生」は瀬戸内海の小さな島に臨時教員としてやって来た青年の物語です。青年は、病気のために喋ることができません。子どもたちから「先生は口がきけんのか。機関車先生だ。」とあだ名をつけられます。「機関車先生」は、そんな青年が、7人の小学生と島の人たちとの触れ合いを通して、自分自身について考えていく物語です。

恵那高等学校

恵那高校では8月26日～28日に城陵祭があり、初めの2日間に文化の部を、最後の日に体育の部を行いました。文化の部では一年生が教室を使い作品を展示し、二年生がダンスなどの演劇を行い、三年生が演劇をしました。他にもPTAの方によるバザーがあり、美味しいかき氷などが食べられました。私たち図書委員も古本市を行い、お値打ち価格で本を販売しました。体育の部では紅・白・青の三軍に分かれて5つの賞を獲得するために、リレーや騎馬戦、応援合戦など様々な競技で競い合いました。城陵祭は楽しめることがたくさんあるので今年来られなかった方は、ぜひ来年来てみてはいかがでしょうか。

